地域一体型の生涯を支える健康づくり

令和８年度第１回
和光市食育推進コンソーシアム会議

令和８年６月２２日（月）

目次

1.第二次健康わこう２１計画・第三次食育推進計画における
　事業展開と今年度の取り組みについて
2.国の動向及び次期計画の策定について
3.第四次食育推進計画の策定に向けた市民調査の実施について
4.構成員交流（連携体制）

1　第二次健康わこう２１計画・第三次食育推進計画における事業展開と今年度の取り組みについて

基本理念

『地域包括ケアシステムの構築による総合的な健康づくりと健康社会の実現』

健康わこう２１計画

基本方針

1　疾病予防、重症化予防施策のさらなる推進による医療費適正化

2　「セルフヘルスケアマネジメント」の普及による食育と連動した生活習慣病予防の強化

3　特定健診・特定保健指導における改善率を評価指標とし、目標値を設定した事業管理を推進

4　健康づくり基本条例の機能および地域・職域連携の推進を活用した、課題解決への新たなアプローチ手法の創出

5　ヘルスサポーターによるわがまち・わが地域の健康づくりを推進

6　ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり（女性の健康づくり）

食育推進コンソーシアムについて記載

和光市食育推進計画

基本方針

1　生涯を支える健康づくり（ライフコースアプローチ）の視点による食育推進

2　地域一体型の公民協働によるセルフヘルスケアマネジメント支援

3　食を通じた正しい知識の習得と未来につながる食育

1　第二次健康わこう２１計画・第三次食育推進計画における事業展開と今年度の取り組みについて

【和光市食育推進計画】

基本理念

『地域包括ケアシステムの構築による総合的な健康づくりと健康社会の実現』

【方針1】
生涯を支える健康づくり
（ライフコースアプローチ）の観点を
取り入れた食育推進

【方針２】
地域一体型の公民協働による
セルフヘルスケアマネジメント支援

【方針３】
食を通じた正しい知識の習得と
未来につながる食育

食育推進コンソーシアムの連携



わこうの朝ごはんコンテストの開催





スーパーやコンビニエンスストアでの啓発資材の掲示



わぴあ夏祭りでの食育講座



わこう食育おうえん隊講座

2　国の動向及び次期計画（第四次和光市食育推進計画）の策定について

【国の動向】第５次食育推進基本計画骨子案（令和８年度から令和１２年度）

1　学校等での食や農に関する学びの充実

栄養教諭等による指導や「農林漁業教育」を推進し、食生活の重要性を養います。

2　健全な食生活の実践に向けた「大人の食育」の推進

「官民連携食育プラットフォーム」を核に、企業と行政が連携した効果的なアプローチを全国的に展開します。

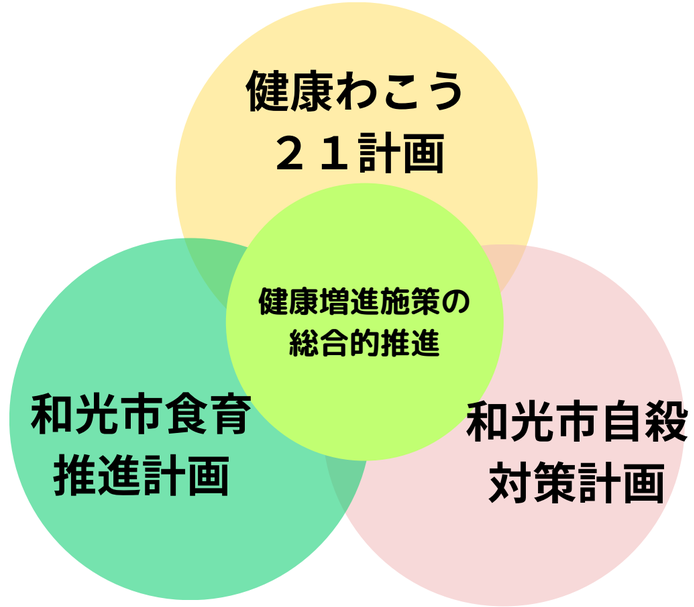
3　国民の食卓と生産現場の距離を縮める取組の拡大

農林漁業体験等の実施により、生産現場への理解を深め、食の恵みへの感謝を育みます。

2　国の動向及び次期計画（第四次和光市食育推進計画）の策定について

第四次和光市食育推進計画の策定について

1. 計画の位置付けと期間



- **次期計画への移行**
　現行の「第三次和光市食育推進計画」が令和8年度（今年度）をもって終了することに伴い、次なる9年間の指針を策定します

- **計画期間**　　令和９年度から令和17年度まで

- **計画の一体化**
　健康増進施策を総合的に推進するため、**「第三次 健康わこう21計画・第4次和光市食育推進計画・第3期和光市自殺対策計画」**の三つの計画について一体的に策定を行います。

３　第四次和光市食育推進計画の策定に向けた市民実態調査の実施について

１調査の実施概要

調査	人数	実施期間
地域の絆と安心な暮らしに関する調査	約16000人	令和８年７月１日（水）～７月３１日（金）
小5・中２対象健康アンケート	約1300人	令和８年６月１８日（木）～７月３日（金）

２ 調査項目について

- 朝食摂取率、野菜摂取率、共食の状況、食文化や地産地消・わこうの食育の取り組みの認知度、災害備蓄など

３調査結果の活用（次期計画への反映）

- 結果をもとに、今期計画の評価を行い、 令和９年度から令和１７年度までの９年間の具体的な次期計画のKPI（重要業績評価指標）を 策定する根拠とします。

報告事項

わこうの食育おうえん隊講座が農林水産省のHPに掲載されました！

こちらから→
対象ページを
確認できます

農林水産省

会見・報道・広報 | 政策情報 | 統計情報 | 申請・お問い合わせ | 農林水産省について

ホーム ＞ 消費・安全 ＞ 食育の推進 ＞ 地域での食育の推進（委託費・交付金） ＞ 「地域での食育の推進」交付金 活用事例集

「地域での食育の推進」交付金 活用事例集

こちらのページでは、令和元年度以降に「地域での食育の推進」に係る交付金をご活用いただいた取組事例の一部を年度ごとに紹介しております。
食育活動の実施・実践に向け、ぜひ参考にしてみてください。

キーワード、都道府県ごとに事例を調べたい場合はこちらの活動事例集をご参照ください。

平成30年度以前の事例はこちらをご参照ください。

令和6年度 取組事例

食育推進検討会の開催

守山市（滋賀県）（PDF：218KB）
平戸市（長崎県）（PDF：282KB）

食育推進リーダーの育成及び活動の促進

塩竈市（宮城県）（PDF：340KB）
大阪市（大阪府）（PDF：192KB）
嬉野市（佐賀県）（PDF：401KB）

食文化の保護継承のための取組支援

富谷市（宮城県）（PDF：207KB）
深谷ベンタブルコミュニケーション株式会社（埼玉県）（PDF：258KB）
和光市（埼玉県）（PDF：353KB）
五泉市（新潟県）（PDF：361KB）
小矢部市（富山県）（PDF：439KB）
岐阜市（岐阜県）（PDF：254KB）
愛知県(PDF：384KB)
徳島県(PDF：209KB)
熊本市（熊本県）（PDF：371KB）
竹田市（大分県）（PDF：281KB）

食文化の保護・継承のための取組支援　令和6年度消費・安全対策交付金 地域での食育の推進事業

わこうの食育おうえん隊講座

事業実施主体：和光市（埼玉県）

○　和光市では、地域一体型の公民協働による食育を推進しており、市内事業者や相談機関、市関係課が一体となって食育に取り組んでいく「和光市食育推進コンソーシアム」を構成している。

○　本事業は、コンソーシアムの情報共有会で出されたアイディアをもとに企画され、講師もその中から選出した。
また、市が育成している健康ボランティア「ヘルスサポーター」に調理補助・共食を依頼し、地域のつながりも活かしながら食育の取組を実施した。

○　食に関する知識の普及・啓発および地域の伝統的食文化の継承、和光市の食文化や地域農業について学び、埼玉県産・和光市産食材を調理する機会を創出し、地域で食育の知識を広げる児童を増やすことを目的としている。



【取組の内容】

○　食文化及び地域農業に関する講義・実習
和光市の小学校に通う小学3年生～小学6年生の児童を対象に、地産地消や伝統的な食文化を学ぶ講座を開催。
各講座終了後には、わこうの食育おうえん隊認定証を配布した。


和光市産のごまをする様子（調理実習）


和光市のかつをぶし販売店からのだし講座


和光市のハレの日の食卓に登場するまんじゅう作り（調理実習）


朝採れ枝豆の話を聞きながら枝豆を試食（地元農家による農業講座の実施）

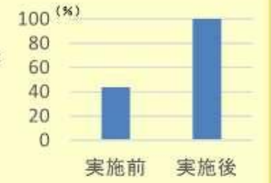
【講座テーマ】
第1回 「伝統的和食について学ぼう」
第2回 「和光市の農業について学ぼう」
第3回 「和光市の食文化について学ぼう」

【取組の成果】

○　食文化及び地域農業に関する講義・実習
伝統的和食や和光市の農業、和光市の食文化について学ぶ機会を提供し、体験を通して、地域の食文化への関心を高め、その魅力を再認識できた。

【事業の目標】

① 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合
事業実施前　43.9%
→事業実施後　100%
（事業参加者アンケートより）



② 郷土料理や伝統料理を食卓に取り入れている市民を増やす
事業実施前　30.0%
→事業実施後　100%
（事業参加者アンケートより）



https://www.maff.go.jp/j/syokuiku/attach/pdf/torikumi2-175.pdf

共有事項

Ｒ８年度わこう食育おうえん隊講座について

和光市の子どもたちがわこうの食育を応援する市民として和光市の食について学び、
食の知識を広げることができる講座として、令和５年度より実施しています。

日程	テーマ	協力事業者・団体
8月1日（土）	伝統的和食について学ぼう （おだしのとり方）	かつをぶし池田屋 様
8月6日（木）	和光市の食文化について知ろう	食文化研究会 加藤 様
8月18日（火）	和光市の野菜について知ろう	和光市農業後継者倶楽部 様







- 令和８年度埼玉農産物の魅力再発見食育推進事業費補助金を活用
- 市で育成しているヘルスサポーター（健康ボランティア）に、
  調理のみまもり・共食に参加依頼予定
- 市LINE、市報にて周知予定





Ｒ８年度わこうの朝ごはんコンテストについて

市内の小・中学生を対象に、
オリジナル朝ごはんメニューを募集します。

募集部門	・栄養バランス部門 ・時短部門 ・アイデア部門
募集期間	令和８年６月１９日（食育の日）から 8月３１日（月）
周知	市HP、市LINE、チラシの配布、ポスター掲示 ●チラシを配布していただける団体様、 周知にぜひご協力ください
審査	10～11月頃、情報共有会にて審査会を実施予定 ご協力をお願いいたします。











４　構成員交流（連携体制の構築に向けて）

１　自己紹介・活動共有

自社・自部署で取り組んでいる（または検討中の）食育・健康づくりの紹介。

２　現場で感じる食の課題

「大人の食育」と官民連携の展望